

# 奈良県消費流出実態調査 報告書

平成 25 年 10 月  
奈良 県



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的 .....	1
2. 調査方法・調査時期.....	1
3. 調査対象 .....	1
4. 調査項目 .....	1
5. インターネットによるアンケート調査回答数.....	2
6. インターネットによるアンケート調査有効回答数.....	2
7. 報告書の見方 .....	2
<b>第2章 調査結果の概要</b> .....	5
1. 買い物環境について.....	5
2. 通勤・通学および帰宅途中の消費実態.....	10
3. 休日の消費実態 .....	13
4. コンビニエンスストアの利用実態.....	15
5. 通信販売の利用実態.....	17
<b>第3章 インターネットによる調査結果</b> .....	21
1. 回答者の属性 .....	21
2. 買い物環境について.....	24
(1) 住まいの身近にある店舗.....	24
(2) ふだんの買い物で不便・不満に思うことの有無.....	27
(3) 住まいの身近に出店してほしい店舗.....	32
3. 通勤・通学および帰宅途中の消費実態.....	35
(1) ここ1ヵ月の通勤・通学途中（行き帰り）に購入した商品.....	35
(2) ここ1ヵ月の通勤・通学途中（行き帰り）に奈良県外で購入した商品.....	40
(3) 奈良県外で購入した商品それぞれの購入店舗形態.....	46
(4) 奈良県外で購入した商品それぞれのここ1ヵ月の購入頻度.....	47
(5) 奈良県外で購入した商品それぞれの1回あたりの購入金額（平均） .....	48
(6) 奈良県外で購入した商品それぞれの買い物先を選ぶ理由・ポイント.....	49
(7) 通勤・通学途中（行き帰り）に奈良県内で買い物先を選ぶ理由・ポイント..	52
4. 休日の消費実態 .....	54
(1) ここ1ヵ月の休日に購入した商品.....	54
(2) ここ1ヵ月の休日に奈良県外で購入した商品.....	59
(3) ここ1ヵ月の休日に奈良県外で購入した商品それぞれの購入地.....	64
(4) ここ1ヵ月の休日に奈良県外で購入した商品それぞれの購入店舗形態.....	65
(5) ここ1ヵ月の休日に奈良県外で購入した商品それぞれの購入頻度.....	66
(6) ここ1ヵ月の休日に奈良県外で購入した商品それぞれの1回あたりの購入金額（平均） ..	67

(7) ここ1カ月の休日に奈良県外で商品を購入した際それぞれの主な交通手段..	68
(8) 奈良県外で休日の買い物先を選ぶ理由・ポイント.....	69
(9) 県外・県内を問わず一番気に入っているお店、商業施設.....	74
5. コンビニエンスストアの利用実態.....	77
(1) ここ1カ月のコンビニエンスストアの利用頻度.....	77
(2) ここ1カ月で、コンビニエンスストアで購入した商品.....	84
(3) コンビニエンスストアでの1回の平均購入金額.....	87
6. 通信販売の利用実態.....	90
(1) ここ1年で、通信販売で購入した商品.....	90
(2) 通信販売で購入する商品それぞれの主に利用する通販形態.....	96
(3) 通信販売で購入する商品それぞれの1年あたりの購入頻度.....	97
(4) 通信販売で購入する商品それぞれの1回あたりの平均購入金額.....	98
(5) 通信販売で購入する商品それぞれについての通信販売を利用する理由.....	99
(6) 今後の通信販売の利用見込み.....	100
(7) 通信販売を利用して不便だと感じること.....	105
(8) 家計支出に占める通信販売による支出割合(1カ月平均).....	108
<b>第4章 グループインタビューによる調査結果 .....</b>	<b>111</b>
1. 参加者の属性 .....	111
2. 日用品と非日用品の購入実態.....	112
3. 県外・県内それぞれで購入する商品について.....	116
4. 将来の買い物パターンの変化について.....	119
5. 奈良県における買い物環境の現状と意見.....	121
<b>第5章 考察 .....</b>	<b>125</b>
1. 県内消費者数の増加.....	125
2. 県内の買い物環境の向上.....	129
3. 魅力ある商品開発と情報発信.....	132
4. 消費税増税への対応.....	132
5. おわりに .....	133
<b>資料：インターネット調査画面 .....</b>	<b>135</b>

## 第1章

# 調査の概要





# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

本県における県外への消費流出額は、平成23年奈良県内消費実態調査によると約4,000億円であり、消費額の23.5%にのぼる。この県外流出額を抑制し、地域経済・産業の活性化に資する施策の検討を行うため、県外流出の現状について把握し、今後実施すべき施策の検討資料とする。

## 2. 調査方法・調査時期

### I. インターネットによる調査

インターネット調査モニター（インターネット通販の会員登録者）に対してアンケートを配信〔平成25年7月2日（火）～平成25年7月4日（木）〕

### II. アンケート調査に基づくグループインタビュー〔平成25年9月14日（土）〕

グループ1：14時～16時

グループ2：18時～20時

## 3. 調査対象

### I. インターネットによる調査

奈良県在住の18歳～80歳男女のうち、次のいずれかに該当する人

①県外通勤（通学）者

②通信販売を活用して商品を購入する人

### II. アンケート調査に基づくグループインタビュー

I. インターネットによる調査にて、参加可能と回答した人

グループ1：ふだんの買い物で不便・不満を感じている人 6名

グループ2：ふだんの買い物で不便・不満を感じていない人 6名

## 4. 調査項目

### I. インターネットによるアンケート調査

- ・買い物環境
- ・通勤・通学および帰宅途中の消費実態
- ・休日の消費実態
- ・コンビニエンスストアの利用実態
- ・通信販売の利用実態

### II. アンケート調査に基づくグループインタビュー

- ・日用品と非日用品の購入実態
- ・県外・県内それぞれで購入する商品
- ・将来の買い物パターンの変化について
- ・奈良県における買い物環境の現状と意見

## 5. インターネットによるアンケート調査回答数

配信数：27,017 回答数：3,303

## 6. インターネットによるアンケート調査有効回答数

有効回答数		3,060
調査対象	① 県外通勤（通学）者	928
	② 通信販売を活用して商品を購入する人	2,989
	上記のうち、①かつ②に該当する人	857

## 7. 報告書の見方

- ・回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たず、「0.0」となる場合がある。
- ・グラフに「MA%」という表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。  
（MAはMultiple Answerの略）
- ・表中の数字は、上段が実数（件数）、下段が比率（%）を表す。
- ・表中、比率が最も高い選択肢には 、2番目に高い選択肢には  の色付けをしている。設問によっては、比率が最も高い選択肢にのみ網掛けをしていることがある。
- ・図表において、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ・商品分類の「生鮮・一般食品」は、具体的には「肉、鮮魚、野菜、果物、米、麺類、牛乳、乳製品、卵、油脂・調味料、加工・保存食品等」のことである。
- ・第3章「インターネットによる調査結果」では、性別、年代別、性・年代別によるクロス集計結果もコメントと併せて掲載しているが（一部サンプルが少なく傾向を把握することができない質問では非掲載）、第2章「調査結果の概要」で触れる性別、年代別、性・年代別以外のクロス集計結果については、集計結果表のみをそれぞれの質問結果の後に併せて掲載している。
- ・サンプルが極端に少ない結果等については、解釈をする際注意を要する。
- ・調査はネットユーザーに限定し実施された調査であり、結果を解釈する際注意を要する。
- ・第2章、および第5章では、通勤・通学および帰宅途中（以下通勤・通学途中）などのように（以下〇〇）を用い、その後の表現を簡略している場合がある。

・地域区分（ブロック）は以下の通りである。

地 域 区 分	市 町 村
奈良市・生駒市等ブロック	奈良市 生駒市 山添村
大和郡山市・天理市ブロック	大和郡山市 天理市
大和高田市・香芝市等ブロック	大和高田市 御所市 香芝市 葛城市 平群町 三郷町 斑鳩町 安堵町 上牧町 王寺町 広陵町 河合町
橿原市等ブロック	橿原市 明日香村 高取町 川西町 三宅町 田原本町
桜井市・宇陀市等ブロック	桜井市 宇陀市 曾爾村 御杖村
五條市・吉野郡ブロック	五條市 吉野町 大淀町 下市町 黒滝村 天川村 野迫川村 十津川村 下北山村 上北山村 川上村 東吉野村